

「みんなの広場」における校長講話要旨

日 時 令和4年7月7日(木)

8時00分～8時10分

場 所 茶内小学校体育館

- 気温が高い日が続いていますが、皆さん、体調はどうですか。
- 水分補給や服装の調節などをしっかり行って、自分の体調に気を付けるとともに、自分の体調は自分で守るという意識をもって毎日を過ごしてください。
- ただ、決して無理はしないようにしてください。
- 体調が悪くなったら、すぐに担任の先生や安住先生に教えてください。
- 夏休みまであと約2週間です。
- 皆さん全員が元気に1学期を乗り越えて、夏休みを迎えてほしいと思います。

- さて、今日はせっかく時間をいただいたので、「北海道みんなの日」についてお話しします。
- 皆さんは「北海道みんなの日」を知っていますか？
- 実は、7月17日が「北海道みんなの日」になっています。
- 7月17日は、北海道の名付け親とされる松浦武四郎（まつうら・たけしろう）が明治2年に、「北加伊道」という名前を提案した日とされています。
- このことから、北海道の歴史や文化、豊かな自然や風土など、北海道の価値を見つめ直し、誇りに思う心を育み、より豊かな北海道を築き上げることを期する日として、5年前に制定されました。
- 北海道に住んでいる私たち道民が、より豊かな北海道を築き上げていこうとすることから、「道みんなの日」という愛称で呼ぶこともあります。
- 「北海道みんなの日」を記念して、7月17日を中心に道内各地で様々な取組が行われます。
- 例えば、札幌市にある道庁では、「北海道みんなの日エピソードコンテスト」が実施され、「教えてください、あなたの、とっておきの北海道」というテーマで、北海道に関係するエピソードを募集しています。
- また、多くの学校では、故郷を愛する態度を育むことをねらいとして道徳の授業などが実施されます。
- 茶内小学校では何かするのでしょうか？
- 校長先生は、先生方に「何かしてくださいね」という願いは一切していません。
- なぜならば、本日の話を聞いて、皆さん自身が、周りの豊かな自然を見つめ直し、みようかな、故郷の浜中町のために何ができるかな、という気持ちをもって何か行動してくれたらそれでいいと思っています。
- また、校長先生は、皆さんは自分で考えて行動できる人たちだと信じています。
- 今週の月曜日、第5学年の総合的な学習の時間の授業を参観させていただきました。

- そこで、第5学年の皆さんは、霧多布湿原の環境を守るために、自分たちには何ができるか考えていました。
 - 湿原の環境を守ることを示した看板を設置しよう、配付されるポケットティッシュに、湿原の環境を守る広告を入れよう、ゴミのポイ捨て禁止を呼びかけようなど、たくさんのアイデアを出していました。
 - この第5学年の取組は、故郷を誇りに思うからこそ、たくさんのアイデアが出てきたのではないのでしょうか。
 - まさに、「北海道みんなの日」の趣旨に値する取組です。
 - 第5学年の取組を参考にしてもよいと思います。
 - 自分自身で考えてもよいと思います。
 - または、気の合う友達とアイデアを出し合ってもよいと思います。
 - 今すぐではなく、夏休みを使ってゆっくり考えて取り組んでもよいと思います。
 - 何かに取り組んだ人がいたら、是非、校長先生に教えてください。
-
- 今日もしっかりした姿勢で話を聞いてくれてありがとうございました。
 - これで校長先生からのお話は終わりにします。